



～笑顔うまれる空間～ かふえ&ほーるwith遊

シリーズ第4回は、以前は銭湯「おぎの湯」で、今はオアシスのようなカフェと多目的に使えるホールがある「かふえ&ほーるwith遊」。銭湯の時代からいろいろなアイデアで時代の変化に対応してきた店主の田辺恵一さんにお話を伺いました。

★銭湯の時代

先代の父親から受け継ぎ新築し直して17年しか経ってない銭湯を、これまでに例を見ない形態に大改装。脱衣場の2階にあるコミュニティーホールにはトレーニング器具を設置、ビデオの視聴も可能でコンサートを開催したこともあります。コンポセットが置かれ、まるでコックピットのような番台、インターネット接続できるPCもあり、コミュニティー銭湯、ミュージック銭湯としてメディアに何度も取り上げられたそうです。

田辺さんのアイデアはとどまるところを知らず、「富士山」が描かれることが多い浴室の壁画を「ピンクの象さん」にし、シリーズとして定期的書き換えられ、最後は「孫悟空」だったとのこと。

馴染みの客が集まって忘年会が開かれるなど、集いの場として愛されてきた名物銭湯「おぎの湯」ですが、建物の老朽化と時代の流れに銭湯の継続を断念し、平成18年4月に惜しまれながらも幕を閉じます。



★かふえ&ほーるwith遊として

花とグリーンに囲まれたオアシスのようなカフェと、その奥に地域の遊び場、癒しの場として多目的に使うことの出来るホールがある「かふえ&ほーるwith遊」。名前の由来は、『with you smile』と銭湯の“湯”。カフェは壁面をギャラリーとして利用することも可能。展示料もリーズナブルで毎月誰かの作品が展示されています。本格的音響機器と100インチスクリーンを備えたホールは、最大36人収容可



能。荻窪音楽祭・阿佐ヶ谷ジャズストリートバラエティ会場などのライブコンサート、映画鑑賞会、定期開催のカラオケ大会、地域サークルの練習/発表の場と様々な用途で利用されています。

「やりたいことは何でもやらせてあげたい、“NO”は言わない、希望に応えるのが楽しみ」という店主の田辺さん。どのような無理でも対応してくれることから口コミで情報が広がり、ホールの利用者は東京全域、遠くは横浜からも来ます。

「荻窪地域区民センター協議会」初代委員で、西田小の「西田オヤジの会」でも活躍された田辺さん、まだまだいろいろなアイデアをお持ちのようで、これからもカフェとホールを生かした楽しい集いの場を提供していかれることでしょう。



かふえ&ほーるwith遊

住所: 〒167-0051 杉並区荻窪3-46-13-101

TEL: 03-6661-2336

ホームページ: 右記二次元バーコードから

